

チャンネル24

12・8 武器はいらない 核もいらない 平和を守る母親全国連鎖行動

12月	行事・会議など日程	支部・専門部など
15 月	会員訪問 18:00～	15月集金
16 火		
17 水		
18 木		
19 金	消費税引き下げ宣伝 黒崎駅前 17:30～	
20 土		
21 日		
22 月	年末調整実務会 13:30～	
23 火		
24 水		
25 木		月末集金
26 金	法人集団申告 11:00～	
27 土	年末年始休み (12/27～1/4)	
28 日		
29 月		
30 火		
31 水		
1月	行事・会議など日程	支部・専門部など
1 木	元旦	
2 金		
3 土		
4 日	新春拡大決起集会 博多市民センター	
5 月	新春ピラ宣伝 10:00～	
6 火		
7 水		
8 木	常任理事会 19:00～	
9 金		
10 土		
11 日		

お知らせ

《無料法律相談》

1月14日(水) 18:30～

※事前に連絡ください。

《年末年始》

12月27日(土)～1月4

日(日)事務所閉めます

民商事務所 ☎ 641-241



赤紙配りに参加した母親連絡会の皆さん

いま、日本も世界も、人類の命と地球の今と未来がかかった重大な局面にあります。戦争か平和か、どちらに進むか、まさに歴史的岐路にたっています。憲法9条を守れ、平和を守れ、声を大きくあげていきましょう。戦争はイヤだ！戦争反対！「平和がいちばん」と一緒に行動しましょう！！

北九州母親大会連絡会は12月8日に黒崎駅前ベデストリアンデッキで、赤紙チラシ100枚を配り、通行中の方々に「戦争

1941年(昭和16年)12月8日、日本軍がアメリカをはじめとする連合国軍を相手に太平洋戦争に突入し、無謀な戦争を拡大しました。この戦争で310万人の日本人、2千万人を超えるアジアの人々の生命が犠牲になりました。私たちは、この日を決して忘れないために、日本が再び戦争を始めないように、赤紙「召集令状」を模写したチラシを配り「武器も核もいらない」と訴え続けています。

は絶対ダメ」「平和がいちばん」と訴えました。この連鎖行動に、4団体10人が参加しました。八幡西民商婦人部からは、役員・事務局の3人です。

戦後80年の今年10月21日の臨時国会で高市早苗氏が首相に選ばれ、極右・排外主義の濃い「自民党・日本維新の会」の連立政権が誕生しました。

北九州市では、自衛隊基地の周辺1kmが注視区域とされ、住民は監視対象とされました。また、港湾や空港の軍事利用のため、北九州空港も特定利用空港に選定され、隣接する芦屋基地・築城基地は佐賀空港との飛行訓練ルートとされています。墜落の危険性や市民の生命及び、安全が大きく損なわれることが懸念されるなか、戦争の準備が知らないうちに着々とすすめられています。日本はアメリカ言いに43兆円の大軍費予算を使い、戦争する国へと軍事化をすすめています。

今週の

陣原の自炊さん
支松動金さん
宅の葉牡丹。花言葉は「祝福」「愛を包む」「慈愛」「物事に動じない」「利益」です。「愛を包む」や「慈

お花

愛」は、葉が幾重にも重なり、ふわりと包み込むような葉牡丹の姿に由来。「祝福」は紅白の葉の色が日本ではお祝いシーンでも親しまれる色から、「利益」はキャベツに似た特徴から同じキャベツの花言葉がつけられたそうです。

【参加者の感想】
12月8日、毎年必ず実施される「平和を守る母親全国連鎖行動」。二度と戦争を始めないようにと、裏面に「召集令状」模写したピラ配り。手に取って目を通してくれる人、一人でも多く今の軍拡に進む情勢に疑問を持ってくれることを願って。

例年より参加が少ないと思いましたが、チラシは100枚ほど受け取ってもらえました。戦争はイヤだ！戦争反対！

平和が1番と粘り強く行動しなければと思います。

婦人部長 水元

東部支部 宮崎

福岡県青年部協議会

第50回 定期総会

福岡県青年部協議会は、11月30日に総会を開催し、全体29人、八幡西民商からは3人が参加しました。



総会会場 TKPガーデンシティ博多

坪山副議長の進行の元、隅議長のあいさつに始まり、表彰では、八幡西民商も総会開催表彰で表彰され上本部長が受け取りました。その後、田口副議長から「県青協50年の歩みが、今の青年部活動に繋がり、さらに次の世代へと引き継いでいくことが重要です。今を土台に、新しい繋がりを作り、仲間の輪を広げましょう。」と力強く総会決議案が提起され、久好事務局からは決算報告、予算案の提案が行われ、全会一致で承認されました。最後に、新役員挨拶が行われ、県青協総会を終えました。

青年部担当 中園



表彰 表彰を受け取る上本部長

青年部では、日常で経験できないことができる！みんなで学び経験しよう！

ー 福岡県青年部協議会 50周年ウェルカム企画 異業種交流会 ー

福岡県青年部協議会は、11月30日に県青協設立50周年を記念して、「50周年ウェルカム企画 異業種交流会」を開催し、全体37人、八幡西民商からは3人が参加しました。



50周年ウェルカム企画会場 TKPガーデンシティ博多

県青協として、この企画の為に実行委員会を設置し、会員の立場での意見や民商事務局からの意見をみんなで交換しながら「事業の為にすること」「勉強になること」を考え開催。実行委員の中でも、企画を専門にしているような人はなく、みんなが日常では経験できないことを勉強（学び）として捉え、何度も実行委員会を行い開催することができました。



進行の田口幹事（福岡・博多民商）

まず、司会進行の田口幹事から「軽食をご準備しておりますので、食事をしながら各テーブルで名刺交換や交流をお楽

しみください。」と簡単な挨拶と趣旨説明があり、乾杯の音頭で異業種交流会が始まりました。交流会の中では、「従業員を連れてくるのはどうかとも思ったけど、いつか独立させたいので独立の時の経験の為にと思い同席してもらった。」というような前向きな話や、「着席タイプではなく、立食だったらもっとたくさんの方と交流できたかもしれない。少しもったいなかった。」などの感想も出されていました。途中で、福商連の隅副会長より、民商の基本方向と青年部についての講演を行っていただき、「民商、青年部では、事業をしているだけでは経験できないことが経験できる。今日の企画を考え、検討し、実行する。大勢の前に出て司会進行する。これだけでも経験することに学びがある。経験することで他の人がしている時に考えることも出来る。大きな経験・勉強です。民商、青年部ではお金を払わずに勉強ができる。積極的に頑張ってください。」と参加者にエールを送られました。



各テーブルに分かれて異業種交流

その後、席替えを行い改めて交流の時間を楽しみ、最後に、実行委員が作成した「50周年記念ショート動画」をみんなで鑑賞し、隅議長から「歴史が積み重なって今がある。映像に残したことも、10年後、20年後に、どのようなことを話していたのか、どのような会をしていたのかを残したかった。これからもまだまだ続いていく青年部、みなさんのご協力が必要です。宜しくお願いします。」と挨拶があり閉会となりました。

青年部担当 中園



最後に参加者で集合写真